

ぎかいのとびら

ひおき市議会だより



まるごと伊集院フェスティバルで歌って踊るIMXILE（イムザイル）のパパたち

12月定例会 主な内容

平成29年2月 第47号

- 補正予算・賛否表 …… P 2
- 条例・賛否表 …… P 3
- 一般質問 …… P 4
- 一般質問 どうなった？ …… P 11
- 請願書・その他議案・賛否表 …… P 12

- 産建所管事務調査 …… P 13
- 決算審査特別委員会…… P 14
- 議会報告会 …… P 18
- 編集後記 …… P 20

12月補正予算 災害復旧で安心安全な町づくり

～12億7163万6千円(減額予算を含む)を追加し総額280億5864万4千円～

職員給与等
3118万円
(人事院勧告による)



配食サービス車1台(吹上)
120万円



伊集院北小学校改築費
1億6392万円



**城西高校サッカー部
全国大会補助金**
100万円



国保準備基金
1億3000万円

マイナンバーシステム整備費
718万円

一般会計・特別会計 (予算額は1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表(議長は表決に参加しない)																結果						
		中村	畠中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島		田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田
一般会計	12億7163万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
特別会計	国民健康保険	3億3585万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	公共下水道事業	135万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	健康交流館事業	△46万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	介護保険	△559万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	後期高齢者医療	339万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
水道事業会計(収益的支出)	851万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

まちのきまり 条例を改正しました

日置市職員の給与に関する条例の改正

職員の給与が引き上がります。
人事院勧告の内容に準じ増額されました。

- ① 給料表改正 平成28年4月1日から適用
- ② 勤勉手当増額 平成28年12月1日から適用
- ③ 扶養手当改正 平成29年4月1日から適用

日置市長等の給与等に関する条例等の改正

市長・副市長・教育長・議員の期末手当が引き上がります。
人事院勧告の内容に準じ増額されました。
平成29年4月1日施行、平成28年12月1日から適用されます。

(賛成20・反対1の賛成多数で可決)

日置市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

農業委員19人と農地利用最適化推進委員15人を置き、農業従事者以外を1人以上入れることに改正されます。



日置市内の農地

反対討論
今回の改正は農地法改正と一体であるTPP受け入れを前提とした体制づくりで、戦後の農政を根底から覆すものであり、民主主義の重大な後退と考え反対する。

賛成討論
農業従事者以外にも参画でき、透明化された体制に改革される。法律の改正による条例の制定であり、地方公共団体である日置市が法律に従わない事は違法である。

(賛成20・反対1の賛成多数で可決)

賛否表(○:賛成、×:反対 議長は表決に参加しない)

条例名	可決内容	中村	畠中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	結果	
日置市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	制定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市地方活力向上地域産業開発促進条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市行政嘱託員条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市税条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市国民健康保険税条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市印鑑の登録及び証明に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市議会議員又は日置市長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市職員の給与に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市長等の給与等に関する条例等	一部改正	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

一般質問

これからどうする!

日置市



12月の定例会では13人の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



大園 貴文 議員

質問①
水士里応援サポーター制度の導入は

市内には、水士里サークル組織40組織、中山間地域等直接支払地区95地区がある。
美しい農村を未来の子どもたちへ繋ぐさまざまな活動をしているが、年々過疎高齢化が進行し組織の存続が危惧される。

市内外から支援の輪を広げるサポーター制度を導入し、地域の活性化と持続可能な地域づくりを推進すべきでは。

答弁①
共同作業のサポート体制を進める

現在、草刈等維持管理

を共同作業で行っている。「今後、高齢化や過疎化で作業ができなくなる」との声もあることから、存続が危惧される。
現在、組織の広域化に向けた作業を進めており広域組織設置後、各組織の意見を聞き必要であれば共同作業のサポート体制整備を進めていきたい。

答弁②
サッカー場建設と周辺整備を進める

合併前から引き継いでおり、地元関係者や県サッカー協会からの要望もある。
今回周辺の一体的な整備として、駐車場・街路灯・道路の拡幅等を含め進めていく。

質問②
吹上浜アスリートの森整備計画は

平成29年度から平成31年度にわたり第二次日置市総合計画主要事業一覧に、キャンプ村周辺の広場にサッカー場2面の建設計画が計上されている。

予算は、設計・工事費含め6億6500万円で、整備計画・事業の効果・財源

は、十分に検討され市民の福祉向上につながるか。
また、日置市を全国に発信、PRするよい機会であるが、どのような対応を取られるか伺う。



福岡県応援サポーター募集チラシ

質問①
配偶者暴力相談支援センター設置を

平成26年9月議会での私の提案に市長は「早速取りかかる、27年には」と答弁されたがその後、設置をみない。
DV被害者支援として、裁判所での保護命令を受けるために必要な、DV被害の証明書を女性職員の少ない警察が出す仕組みだ。

答弁①
センター設置をしていく

来年4月から警察OBも入れたい。
男女共同参画の相談員もいるので、福祉課と連携してDVの対策をやっ

質問②
認知症対策に見守りステッカーを

しかし、配偶者暴力支援センターを女性職員や相談員がいる市に設置する事で、被害者側にとっての2次被害や苦痛が軽減される。
設置はいつになるか。

本市の認知症及び予備群はどれくらいいるか。徘徊後、帰宅できず警察等が捜索した現状は。一人歩きが心配な高齢者に靴や持ち物に貼っておくことで危険回避する、見守りステッカーを提案するがどうか。

黒田 澄子 議員



答弁②
他自治体の状況をみながら検討する

介護認定を申請された中で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅰ以上が、2611人で高齢者人口の17%、予備群を含めると4人に1人と考える。



桶川市の見守りステッカー

その他の質問
・子育て包括支援センター設置は
・乳がん検診での高濃度乳腺であることの通知、乳房再建の広報と公費助成
・地域おこし協力隊

質問①
明治維新、義弘公没後400年記念は

2018年は、明治維新から150年の節目の年である。
NHK大河ドラマも「西郷どん」にきまり、主役も決定した。
そして、翌年の2019年は、島津義弘公没後400年の記念すべき年を迎えるが、日置市として今後どのような対応を考えているか伺う。

答弁①
ゆかりの地の発掘に努める

「西郷どん」については、県をはじめ観光連盟、関係市町村において、ゆかりの地としての観光素

材の発掘や磨き上げを行い、多くの旅行者に対応できるように準備を始めている。
関係市とも連携し、広域的な関連するパンフレットなどの作成を考えている。

義弘公については、記念事業の実施などを目指して、義弘公と縁の深い4市町で三州同盟会議を締結している。
今後も三州同盟会議において記念事業を行っていく計画である。

答弁②
国体担当参事を配置し準備を進めている

平成32年度に第75回国民体育大会が、鹿児島県で開催される。
本市においては、軟式野球とレスリングの2競技が開催予定である。
今年度、国体担当参事を社会教育課に配置し、準備を進めている。

質問②
かごしま国体へ向けて準備等の進捗状況は

かごしま国体まであと4年を切っているが、国体に対する人員配置等、具体的な準備の状況はどのよう

全国介護サミットや国民文化祭などを開催した実績を生かして、全国に日置市の情報を発信していきたいと考えている。



中村 尉司 議員



日吉地域の清浄寺に建つ小松帯刀像



中 弘紀 議員

質問① 農地の利活用と市街地の農地の住宅化は

本市は鹿児島市に隣接のベッドタウンとして最適な条件下にある。市長は、人口増を図るための数々の施策を実行し、市街地は発展した。しかし、農村部では急激な過疎高齢化が進み、市全体の人口減は一向に止められない現状である。解決策のひとつとして本市の特性を生かし、農地の利活用で住宅化の促進を図ることで、展望が開けるのではないかと。①耕作放棄地の利活用と対策は。②農地の住宅化の状況は。

③伊集院町の平田地区の農地の住宅化は。④農地と住宅の住み分け等、今後の展望は。

画があれば、農業委員会での農地転用申請と連動して、農振除外における県知事への同意を求めることは、可能である。ただし、宅地分譲を目的とした農振除外や農地転用は、基本的に許可できない。

①農業生産法人や担い手農家が、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、推進を図っていく。また、水土里サークルや中山間地域等直接支払事業等により、耕作放棄地が拡大しないよう推進。

④これからの農業を考える時、守るべき農地の確保は、大事である。また、住宅地の確保も必要であり、総合的な土地利用計画を推進していくことが重要。

②住宅建築を目的とした農地転用の許可件数は、平成25年度と27年度は、平成25年度より27年度は、一般住宅及び農家住宅が131件、賃貸・建売住宅などが30件で、3年間で合計161件である。

③平田地区は、県営ほ場整備を実施しており、県としては、農振農用地区域の角地以外は、基本的に除外できない。しかし、事業完了公告から8年を経過しているため、区域内の角地で、かつ具体的な住宅建築の計



伊集院町平田地区



池 涉 議員

質問① 自主防災組織と行政の連携は十分か

市民の防災意識の向上は図られ、火災警報機・消火器の設置状況はどうか。自主防災組織の消火訓練の範囲と、給水条例の規定は明確か。高齢化の中、災害防止の観点から、直営の作業班の充実が必要だが、公助として、市単独の治山事業を創設し小規模な、がけ崩れ防止の対応を考えないか。

評価しているか。これまでの実績を踏まえ、来年の市長選に向けてどうするのか。自主組織の消火訓練は消火器・バケツリレーを想定し、公設消火栓の使用は許可していない。給水条例は、他市の条例も参考に明確化を検討する。

4期目に向けて舵取りを担いたい。公営住宅の整備、郷土芸能支援、再生エネルギー導入、農林水産物の6次産業化、伊集院駅周辺整備など推進してきた。地区公民館活動の充実で振興計画を推進し、地域課題の解決にも努力してきた。

がけ崩れ防止等の小規模事業を検討。火災警報機の設置率は84%で、自主防災組織の設置率向上が、意識の高



バケツリレーによる消火訓練

質問② 来年の市長選に向けて出馬するのか

3期12年の、主なマニフェストをどう評価しているか。4地域ごとの目標は達成できているか。未達成の事項は何で、全体的には、どのように

事業実績は、毎年度評価・点検し、概ね8割の達成度と考える。人口が5万人を割ったが、より一層の市民参画を目指し、市民の付託を得られれば来期も出馬したい。

質問① 松くい虫による被害状況を問う

吹上浜の松林は保安林として、又観光資源として日置市の重要な財産である。被害防止策を取りながら、なぜここまで被害が拡大したのか。また、どのように認識しているのか。

行い、地域説明会を実施しながら連帯強化に努めている。枯死した松の中でかえり、成長して翌年の松枯れ発生源となるため、伐倒処理を実施している。

了解を得て森林整備を推進して頂きたい。矢筈岳・諸正岳の森林整備は登山道を整備したことで、自然を生かした利用を推進して、観光協会と連携しながら進めていきたい。

答弁① 適宜、伐倒処理を実施

砂防林として重要な地域については、例年森林管理署と合同で特別防除活動を実施している。

4月から5月にかけては、県、森林管理署、森林組合と合同で対策会議を

セイヤ食品が来年度は完成するが、今後、工場見学・飯牟礼のお茶畑・物産館 観光を一体化した、ふれあいロードを含めての観光ルートはできないか問う。

質問② 森林整備を含めた観光ルートの整備は

飯牟礼の「ふれあいロード」から矢筈岳・諸正岳の森林整備はできないか。

・市道・農道の利用に支障をきたしている樹木の伐採のあり方は

その他の質問

・市道・農道の利用に支障をきたしている樹木の伐採のあり方は

橋口 正人 議員



答弁② 自然を生かした利用の推進を図る

矢筈岳・諸正岳を結ぶウォーキングロードを整備した。周辺の間伐等については、かごしま森林組合に打診する。森林組合は、所有者の



諸正岳からの初日の出

下御領 昭博 議員



質問② 防災訓練の研修会、発表会の考えは

防災組織を立ち上げている自治会には、リーダーまたは、班長的作用を担う方がいると思う。自主防災組織のリーダーを対象に、防災訓練の方法、防災に関する知識を深めていくために、研修会を定期的に開催す

質問② 防災訓練の研修会、発表会の考えは

防災組織を立ち上げている自治会には、リーダーまたは、班長的作用を担う方がいると思う。自主防災組織のリーダーを対象に、防災訓練の方法、防災に関する知識を深めていくために、研修会を定期的に開催す

質問① 交通安全対策を問う

スクールゾーンで歩道のない箇所は、車道と路肩部を色分けするカラー舗装を取り入れる考えはないか。

妙円寺小学校区では、スクールゾーンのカラー化が一部施工してある。地域住民の理解やPTA、自治会など関係各所と予算も含め協議し施工していく。

現在、自治会長、地域防災リーダーを対象に、防災に関する講演会を実施している。地域の自主防災組織の事例発表会も大切な事と認識しており、研修会、事例発表会を自治会長会の中に組み入れて、取り組んでいく。

質問① 交通安全対策を問う

スクールゾーンで歩道のない箇所は、車道と路肩部を色分けするカラー舗装を取り入れる考えはないか。

75歳以上の方は、3年に一度免許更新の際に認知機能検査が義務付けられる。

平成29年3月より更新時に、認知機能低下と判定された方には、医師の診断が義務づけられ、認知症と診断されると免許証は取り消される。免許証の返納者は移動手段がなくなるが、市はどう対応する考えか。



妙円寺小通学路のカラー舗装



坂口 洋之 議員

質問①
オリーブ植栽の取り組みと課題は何か

市は鹿児島銀行・野村證券と連携しオリーブ事業に取り組みましたが、現状と課題は何か。

この事業については、市民から賛否意見があり、委員会審議でも、*1 鹿児島オリーブ(株)への補助金のあり方や収支計画の明確化等、厳しい意見や指摘がある。

多額の税金をこの事業に投入する以上、市民に今後の見通しと収支計画を示すべきではないか。

答弁①
剪定・病害虫対策が課題である

市の実証ほ場に650本、日置市オリーブ研究会に350本、市民への苗木助成で1674本、合計で2674本を植栽した。台風対策や、病害虫対策が課題である。

市民から、さまざまな意見があり、この事業をきちっと取り組み実証ほ場で成果を示さなければならぬ。

補助金支出は、委員会でも厳しい意見が出されたことを認識している。

今後については、3月までに結果・経過を議会に報告したい。

鹿児島オリーブ(株)をつくり、現在、スペイン・イタリヤからオリーブを輸入し、商品開発・販売に取り組んでいる。

質問②
冠婚葬祭の簡素化を進めるべきでは

多死社会の中で、葬祭の香典等の負担を感じる市民は多いのではないかと。

また、自治会長や民生委員も、香典の出費も多く負担と感ずる声もある。

長島町では、簡素化の*2 新生活運動への参加が、約35%であり、一つの選択肢である。

本市も実態ニーズアンケートが実施できないかと。

答弁②
自治会・民生委員・生活学校の声を聞く。

29年度に冠婚葬祭に関するアンケートを実施したい。

*1 鹿児島オリーブ(株)・鹿児島銀行と市内6社の共同出資で設立

*2 新生活運動：虚礼などを廃止して、生活を合理化、近代化しようとする運動



鹿児島オリーブ(株)の販売店「ビゴレ」



漆島 政人 議員

質問①
高齢化による道路作業等、今後の対応は

過疎高齢化の影響で、道路・河川管理作業の困難な自治会が年々増えている。

作業困難な箇所は現在、業者委託と市の道路作業班で対応している。

同じ面積の作業を行うのに、作業員の日当を仮に8000円で積算しても、業者より道路作業班の方が約1/3の経費で収まると考える。

しかし、作業員の確保は困難である。

よって、安定した雇用確保のためにも、人件費賃上げや、適正な作業経費の確保が必要である。組織の充実を図ること

で、今後、道路・河川管理作業等を作業班が対応していくことにより、財政的にも事務的にも有効と認識するが、見解を伺う。

答弁①
道路作業班の充実の方向で見直していく

道路・河川の愛護作業は、市民協働による住みよいまちづくりを目指して取り組んでいるが、過疎自治会からの愛護作業の大変さは伺っている。

平成27年度、作業困難を理由に市へ作業要望があった自治会は、伊集院6件、東市来1件、日吉5件、吹上3件であり、この分は道路作業班で作業を行った。

今後、作業要望があった箇所については、業者委託が道路作業班での対応を検討していく。

なお、道路作業班については、今後充実していく方向で見直しを考えていく。



作業員の確保が難しい道路作業班

いるが、作業員を募集しても応募者が少ないのが大きな課題である。賃金や作業経費についても、今後見直しを行っていききたい。

自治会等からの要望が多様化する中、組織体制整備や各地域の作業班に係る作業負担も、地域に合った内容で、平準化を図っていく。

質問①
本市の危機管理体制は

①災害に対する情報発信は。

②災害に対する市の対応は。

③災害時の要支援者の避難支援計画は。

④各消防団員の定数及び階級見直しの結果は。

⑤自然災害等における消防団員招集の協議結果と自治会自主防災組織の課題対応策は。

答弁①
災害対応マニュアルを作成している

①防災行政無線、Eメール、MBCデータ放送等で市民に周知。

田畑 純二 議員

布、ホームページ、広報紙、出前講座、防災行政無線、防災訓練等で啓発。

③避難行動要支援者管理システム導入、同意が得られれば名簿情報を消防、警察、民生委員等に提供。

④吹上中央分団35人、湯之元・永吉分団各33人、和田・花田分団各25人。分団長、副分団長各1人、部長2〜3人、各班長4〜6人、残りが団員。

⑤市災害対策会議の結論に基づき招集。自主防災組織率84.7%、142組織で、複数自治会での組織を検討。

質問②
本市の空き家対策は

①昨年9月議会で行った3年間に調査を行うとしていたが経過は。

②空き家対策マニュアル等を参考に研究した結果と、今後の計画等は。

③空き家に対する市民からの相談苦情等はどんなものがあり、対処策は。

④空き家対策の総合窓口はどこにしたか。

⑤空き家対策条例の制定は。

答弁②
第3期地区振興計画で取り組んでいる

①住めるのか、貸せるかで調査中。

②空き家改修補助制度開始、バンク制度創設。

③本年度20件で、雑木等の繁茂や倒壊の危険性等があり、文書で適正管理を依頼。

④総務課に設置。

⑤条例制定は各地区公民館の調査結果で対応。



市指定避難所の日吉老人福祉センター

質問①
学校の部活動のあり方に問題はありますか

本市の学校の部活動のあり方は、教育の一環としてふさわしいかと。

子どもの成長のためにも休養日は必要だが、顧問の先生の休みは保障されているか。

さて今、全国でブラック部活で生徒が理不尽なことをさせられたり、顧問の先生が過剰な負担を強いられたりすることが社会問題となつていくが、部活が辛いという子どもや先生はいないか。

また、部活に係るお金の問題で、部活に入れない、もしくは続けられない問題はありますか。

山口 初美 議員

答弁①
各学校で有効に実施している

年度初めの部活動紹介、体験入部の機会を経て、生徒が自主的に参加。顧問の指導助言のもと、生徒が自主的に取り組んでいる。

週1回ノー部活動デーを設定している。

部活に関する悩みは、各学校で事案毎に対処している。

中体連各種大会や音楽発表会に係るバス借上げ等は予算措置しており、お金の問題で、部活に参加できない、または続けられない事案は今のところ上がってきていない。

質問②
受動喫煙防止のための喫煙所の見直しを

公共施設の喫煙所の見直しが必要ではないかと。人が通行または出入する所やその近くに喫煙所があるのは良くない。公共施設全ての喫煙所をチェックし、適切な場所への移動か灰皿を撤去

すべきと考えるがどうか。

答弁②
見直し可能なところは検討したい

公共施設は禁煙となつており、喫煙所は建物外に設置している。

雨天時を考慮し、屋根がない所への設置は厳しく建物入口付近となっている状況がある。

それぞれ所管課で、見直しが可能なところは検討していきたい。

その他の質問
・脱原発



本庁舎にJ Tが設置した喫煙所

一般質問 どうなった？



防犯灯をLED化できないか

防犯灯のLED化で自治会の経済的負担の軽減を図る考えはないか。

【平成26年6月質問】

その後、こうなりました！

市内全域で防犯灯のLED化へ！

平成28年～30年にかけて、防犯灯をLED化し、市や自治会の電気料金を軽減する。

子ども医療費の中学校卒業まで無料に

県内市町村で中学校卒業まで医療費無料化が拡充しているが、本市でも実施する考えはないか。

【平成26年12月質問】

その後、こうなりました！

中学校卒業まで医療費の無料化へ！

平成28年10月から医療費無料化が、中学校卒業までに拡大した。

市営住宅のトイレの水洗化を

市営住宅のトイレの水洗化計画をし、整備する考えはないか。

【平成26年9月質問】

その後、こうなりました！

年次的にトイレの水洗化を整備！

建設年度の新しい住宅から市営住宅整備計画に基づき、水洗化をしている。

産後の母子のサポートに、産後ケアを

宿泊型・デイケア型・訪問型等の総合的な産後ケアに取り組まないか。

【平成26年12月質問】

その後、こうなりました！

宿泊型に半額助成！

平成27年度から、7日間を上限に宿泊型に半額を助成する。
平成28年4月からは7割助成に変更され、1日5,830円になった。

花木 千鶴 議員



質問① 農産加工センターを設置する考えは

6次産業化を推進するために、農家や一般市民が農産品の加工研究・開発するための農産加工センターを設置する考えはないか。

既存の加工施設は、新たな加工品の開発・研究にチャレンジできる場となっていない。
1力所でも、野菜乾燥機や製粉機、ペースト化、真空・充填などの設備を整えて活用できるように検討すべきでは。
廃校後の学校給食室の活用策としてどうか。

答弁① 現時点で設置することは難しい

本市の農林水産物を活かす、どういった加工品を必要とするかによって、必要な機材等も変わってくるから、現時点で設置することは難しい。
薬用作物等で、廃校利用が計画されているが、加工施設としての利用は考えていない。

質問② エコミュージアム構想の取り組みは

本市は歴史・環境・文化を活かしたまちづくりを目指し、エコミュージアム構想の考え方で推進すると答弁してきた。
エコミュージアムの在り方は自治体によって違うが、本市はどのように取り組んでいるか。
考え方だけでは、どれもバラバラに点在するに過ぎない。
また、本市が取り組んでいる地域づくりと一体的でなければ、地域にも市民にも理解されないうえに、

観光面での発信力も弱い。考え方にとどまらず、看板を掲げるべきではないか。

答弁② 市全体をエコミュージアム的なものに

地域における有形・無形の文化財の保護のために、郷土芸能等伝承活動支援交付金による市指定文化財への助成や保護活動を行っている。
バスツアーやひよし歴史資料室の設置、パンフレット、史跡の説明板の設置整備で市内外に、本市の魅力を発信している。



吹上歴史民俗資料館

出水 賢太郎 議員



質問① 市役所本庁舎のあり方は

築34年の本庁舎は老朽化しているが、耐震化など防災対策は万全か。
産業建設部や教育委員会の本庁舎への移転・増築を考えたのか。
また、行事などで駐車場が不足し、市民から駐車場整備の声もあるが、どのように解消するか。

平成23年度に行った耐震診断で強度不足が判明したので、29年度に委員会を設置し耐震化の検討を行い、30年度に耐震補

強計画と改修設計の後、改修工事を考えている。
産業建設部と教育委員会の増築は、合併特例債を活用できる平成32年度までに行いたい。
この増築に伴い、駐車場不足に拍車がかかることから、駐車場の立体化を考えている。

質問② 鹿銀との業務協力協定の進め方は

平成24年に鹿児島銀行と包括的業務協力協定を締結したが、日置市への経済効果はどうか。
協定に基づいて進めるオリーブによる6次産業化では、結果が少なくもかかわらず、来年度に工場を建設予定だが、綿密に計画しているのか。

販売担当の鹿児島オリーブ(株)には5千万円以上の補助金を交付しており、市民・議会へ説明が求められるが、どう考えるか。

答弁② 皆さんに十分説明して推進していく

鹿銀との協定で、太陽光や風力発電の誘致、農業法人の設立がなされた。
オリーブの工場は、現在大阪で行っているオイルの充填と、スペイン・イタリヤから輸入する実から搾油する施設だが、現在、建設の事業主体等を検討中である。

鹿銀や鹿児島オリーブ(株)には詳細な事業計画の提示を求め、市民・議会へは十分に説明して事業を推進したいと考える。

その他の質問

・補助金のあり方
・会計検査院の調査について



早急な結実と生産が試されるオリーブ実証ほ場

オリーブの新産業創出支援事業の状況を調査

産業建設 10月7日



ビゴレ

【調査箇所】

- ・オリーブオイル販売店「ビゴレ」
- ・東市来地域オリーブほ場
- ・ラーメン活通（オリーブオイル入りのラーメン）
- ・吹上地域オリーブほ場（永野地区）

**平成27年度地方創生
加速化交付金の状況**

①オリーブ栽培技術の確立
 ・小豆島へ職員1人の派遣費、121万3千円が予算化された。
 ・東市来湯田の旧養蚕試験場跡地に300万円で挿木研究用ほ場を、吹上町入来の市土地開発公社所有地5100㎡を355万円で購入し、今後整備する。

②オリーブ産地化に向けた取り組みの支援
 ・今回の地方創生加速化交付金事業では鹿児島オリーブに商品開発や販路拡大に補助金526万9千円を交付する。
 ・洗顔用石鹸、クレージングオイル、化粧水、乳液、美容液「オリビシアヘル」の5品目を開発し、10月から販売、5000個、7100万円の売り上げを目指す。
 ・日置市産のニンニクとオリーブオイルでガーリックオイルを試作中。
 ・日置市産オリーブ2.8kgを新漬けに。
 ・多摩美術大学教授の深澤直人氏にパッケージデザインやカタログ作成を委託料400万円、容器代300万円で依頼した。
 ・インターネット通販の開設に500万円、広告費750万円。
 他に、JR九州商品カタログ・山形屋のお中元・お歳暮カタログに600セット販売。
 ・鹿児島オリーブ・ビゴレ



東市来地域ほ場

レ4人分の人件費1800万円が計上されている。
 ・6月よりマーケティングのコンサル料を200万円に結び、8月に認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定をエーザイ製薬㈱と締結し、成分分析を行う。
 【まとめ】
 ・一日も早く「日置市産」オリーブオイルの生産・販売を行うべきである。
 ・平成29年度に搾油工場、30年度にレストランの設置が計画され、日置市産オリーブの安定供給が求められる。
 ・地方創生加速化交付金を原資に5026万9千円という多額の補助金を鹿児島オリーブ㈱に交付した以上、事業計画など詳細な情報を、市民や議会に対して説明する責任がある。

市民の願い 請願のゆくえ

「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める請願

（提出者）九州旅客鉄道労働組合
 鹿児島地方本部委員長
 江口洋一

討論

賛成

これまでの固定資産税等の税制の軽減策も今後なくなり、一層の経費削減、運行の効率化が求められる。
 利用者の減少で経営も厳しく、財政面の支援と協力が必要である。

反対

公共輸送としての使命があり願意は理解できるが、JR九州は不動産、飲食業、農業等多面経営で良好な経営状況であり、株式上場もされた状況から反対する。
 （賛成3・反対18）
 賛成少数で不採択

日置市特別養護老人ホーム青松園に係る指定管理者の指定について



青松園

討論

反対

青松園は日置市の宝であり、市が直接、責任を持って管理運営すべきである。
 働く人も約半数が非正規職員であり、低賃金の不安定な雇用である。
 民間に任せる事を認められない。

賛成

民間の能力を活用する事により、市民サービス向上と経費節減を目指し、更新するものである。
 指定管理者は年度ごとに納付金を市に収めることとなり、ふさわしい管理者である。
 （賛成20・反対1）
 賛成多数で採択

○指定先
 社会福祉法人 恵理会
 理事長 前原くるみ
 ○指定期間
 平成29年4月1日～平成32年3月31日
 総務企画常任委員会と文教厚生常任委員会の連合審査が行われた。
 3年後には民間譲渡の計画がある。

賛否表(○:賛成、×:反対 議長は表決に参加しない)

請願・議案名	中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	結果	
「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める請願について	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択	
日置市特別養護老人ホーム青松園に係る指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

市制施行10年 課題解決に向けた決算

27年度 決算

平成27年度の決算は、9月議会で提案され、議会閉会中の10月17日、21日の5日間に決算審査特別委員会（下御領昭博委員長他8人）を開催し、審査を行いました。

27年度決算の概要

平成27年度は日置市が発足して10年目を迎え、節目の年であり、総合計画の理念を軸に財政健全化計画を踏まえた予算編成となる。

国の財政状況も急速な高齢化等で、極めて厳しい状況であり、大胆に歳出を見直し、無駄を最大限縮小し、民需主導の持続的経済成長を促す施策の重点を図る方針であった。

一般財源は自主財源26%、依存財源74%と依然として自主財源に乏しい財政状況であった。經常収支87.8%であり、財政の硬直化が進まないよう、引き続き努力する必要がある。

主な質疑の内容を紹介し
ます。

総務企画

問 ふるさと納税は、具体的なプロジェクトに対し、ふるさと納税を募集すれば効果があるのではないか。

答 平成27年度の具体的な内容に対して指定された寄付金は、890万7070円である。ふるさと納税の申し込みの際に「寄付の指定」という項目を設けて受付している。現在は、プロジェクトに対する広報はしていない。

問 人事評価制度については、公平な評価が必要となるが、具体的にどのようなことを研修しているか。

答 人事評価制度が導入された場合を見据えて試行的に、管理職全員に評価者研修また、被評価者研修をしている。「管理職によって、評価の仕方に差が出るのではないか」という不安の意見が多かったため、今後も研修を続けていく。



ふるさと納税の返礼品
(指定寄付金 890万円)

市民福祉

問 上乗せ分の合併浄化槽補助金額はいくらになったか。

答 また、補助対象とならない合併浄化槽で、地域に貢献する施設への補助は考えないか。

答 上乗せ分の合併浄化槽補助金は、3540万円になる。

現在の浄化槽設置補助金は、単独浄化槽や汲み取りからの転換で、環境面を考慮して10人槽までとなっている。

超えるものは、アパート経営や道の駅などもあるが、当面、今の補助制度で進めていく。

問 生活困窮者自立支援事業の状況はどうか。

答 日置市農業公社に委託して就労準備支援事業を実施し、参加者18人のうち、4人が就労、うち2人が保護廃止となった。

就労になるケースが少なくなってきたが、今後も就労意欲や生活リズムの改善につながるよう、引き続き事業を進めたい。



希望者が増加する配食サービス
(食の自立支援事業費 5982万円)

問 食の自立支援事業の現状はどうか。

答 配食サービスを増加傾向にあり、吹上地域の一部の配食を伊集院ふれあい給食センターで賄っている状況である。

伊集院地域の配食サービスも増加している。今年度、伊集院ふれあい給食センターの内部を改装し、配膳スペースを広げ、今まで以上のニーズに対応していく。

問 子宮頸がんワクチン接種者859人に対し、副反応実態調査を実施しているが、その状況はどうか。

答 対象者859人中、11人が不在であったので、848人を調査している。回収率は58%で、494人から回答をいただいた。

その中で、何らかの症状があった方は74人で、その内、症状が持続、あるいは、医療機関で受診した方が17人で、訪問や電話による聞き取りをおこなっている。

問 予防給付ケアプランの作成は、包括支援センターで作成することはできないのか。

答 ケアマネージャーが作成するケアプランは、月に約140件を委託しており、包括支援センターのケアマネージャーは、1人で約40〜45件を管理。

委託の約140件分を包括で作成する事となる。あと3〜4人のケアマネージャーが必要になる。ケアマネージャーの確保は、今でも補充することが難しい。

教育

問 国民文化祭の収支内訳はどうか。

答 平成27年度の国民文化祭の予算6007万円に対し、県の負担金が3683万8千円となり、その差額2323万2000円が国民文化祭に対する市の負担金となった。



盛大に開催された国民文化祭
(国民文化祭推進事業費 6007万円)



1分1秒を争う、救急救命士

問 企業誘致についてどのような活動を行ったか。

答 県全体の関東、関西に出かけて誘致活動する取り組みに参加しているが、現在の社会情勢では、新しい企業の誘致というのは難しい。

現在、新たな誘致につながるよう立地している企業を訪問し、相談に応じながら、将来の増設計画や取引企業の立地動向を調査している。

問 救急救命士は、どれくらいの人数を考えているのか。

答 救急救命士は、本署及び各分遣所、6つの係で活動している。

各係に3人ずつ配置し合計18人を考えている。現在17人であるが、1人は研修所で研修しているため、来年度から18人の体制となる。

問 児童の放課後等における過ごし方について、検討委員会が提出した答申内容はどのようなものであったか。

答 検討委員会では、二丁調査を実施し、保護者から「放課後児童クラブを開設してほしい」という意見が多く寄せられた。方向性としてモデル地区を選定し、プログラム内容を、保護者からの意見を取り入れて評価や課題を再検討する。

夏休み期間中は、共働きの世帯に配慮し、実施してほしい。

問 外国語青年招致事業の現状はどうか。

答 外国語指導助手のALTは、本市に4人いるが、幼稚園26回、小学校417回、中学校257回、合計700回、派遣されている。

今後、小学校も英語の教科化に進んでいくので、どの学校も積極的に活用している。

産業建設

問 農業委員会の農地利用状況調査の意向調査の状況はどうであったのか。

答 意向調査は、1532人、2599筆を行った。また、明らかに農用地として利用できないもの、B分類として、941ha、16,193筆を農地台帳から削除した。耕作放棄地が増えているが、土地改良した優良農地でも耕作放棄地があり、まずは、それらについて原因の調査を考えている。

問 オリーブ事業の計画は、5年すると5kgほどの収穫があるとされていたが、現在の状況はどうか。また、本市にはどのような品種の苗木が合うのか。

答 今年の8月に調査しているが、6kg弱の収穫ができる見込みであるが、搾油する量ではない。しかし、来年以降は、その10倍の収穫が見込めるので、搾油所も新設し、早く、目置市産のオリーブオイルを販売したいと考えている。また、品種については、スペイン産の3品種とイタリア産の3品種を配布している。



植栽中のオリーブ

問 青年就農給付金事業は、5年間の給付をするが、その後の状況を把握しているか。

答 これまで給付を受けた方は累計で25人、その内給付が終了した方は8人であるが全員が現在も営業を継続している。



永吉中央住宅

問 永吉中央住宅及び土橋ホタル公営住宅の入居の状況はどうか。

答 永吉中央住宅は、他市町村から4件の転入及び伊集院地域から3件、日吉地域から1件、吹上地域から2件の転居があり、10戸全て入居している。土橋ホタル公営住宅は、県外から1件、他市町村から5件の転入及び伊集院地域から3件、東市来地域から1件の転居があり、10戸全て入居している。

問 多面的機能支払交付金事業は、今後の活動に組織の広域化を目的とした新たな基準の設定が示されること、また、市の活動を評価する仕組みの導入が設定されるが、どうなるか。

答 多面的機能支払交付金事業は、国でも広域化を推進しており、日吉地域ではすでに一本化して事業をしている。平成29年度からは、地域ごとに広域化する計画で、代表者に説明している。国は、財源のこともあると思うが、広域化される。



区画整理中の東市来地域

一般会計

反対 市民の願いは、安心して暮らしたい、そんなささやかなもの。個人番号カード事業費、指定管理費、人権事業費、教育費の就学援助費、また、役所の非正規雇用の問題がある。市民の願いにこたえる決算であったか。

賛成 歳入に見合った財政構造への転換を図るために、効果的かつ計画的な財政運営、及び、市民福祉の向上に努めてきたことは、評価する。また、記念事業や合宿誘致推進事業・プレミアム商品券補助事業を行い、実績をあげている。

国民健康保険特別会計

反対 高すぎる国保税は引き下げが必要で、市民を重い国保税で苦しめた決算だと考えるので反対する。

賛成 医療費抑制の為に特定検診や特定保健指導も積極的に取り組む、さらに、ジェネリック医薬品を

介護保険特別会計

反対 介護保険料や利用料の負担が重すぎる。誰もが安心して受けられる制度になっていない。

賛成 一次予防事業として「筋ちゃんひろば」を市内全域に普及した事は評価する。その他、適正な認定業務や介護予防事業の強化など、介護給付費の抑制にもつながっている。

後期高齢者医療特別会計

反対 75歳という年齢で区切つて高齢者を差別する制度であり、高齢者が安心して医療を受けられる制度になっておらず反対。

賛成 保険料の徴収、申請の受付などの窓口業務を行い、療養給付費負担金等かなりの額も負担しており、当市は与えられた制度の中で十分に取り組んでいる。

各会計の決算額と採決の結果

(1万円未満切り捨て)

区分	歳入決算	歳出決算	差引	採決の結果	
一般会計	277億8440万円	267億9967万円	9億8472万円	賛成20・反対1	
特別会計	国民健康保険	79億7074万円	78億1977万円	1億5096万円	賛成20・反対1
	公共下水道事業	5億3672万円	5億1973万円	1699万円	全員賛成
	農業集落排水事業	3918万円	3520万円	397万円	全員賛成
	国民宿舎事業	2億2997万円	2億2989万円	8万円	全員賛成
	健康交流館事業	1億7908万円	1億6707万円	1201万円	全員賛成
	温泉給湯事業	3190万円	2976万円	214万円	全員賛成
	公衆浴場事業	3215万円	3215万円	0円	全員賛成
	介護保険	55億5134万円	53億3225万円	2億1909万円	賛成20・反対1
後期高齢者医療	6億3765万円	6億3645万円	120万円	賛成20・反対1	
企業会計	水道事業(収益的部分)	8億7327万円	7億7908万円	9419万円	全員賛成
合計	438億6640万円	423億8102万円	14億8535万円		

※切り捨てにより合計が合わない場合があります。

賛否表 (○:賛成 ×:反対 議長は表決に参加しない)

件名	中村	畠中	留盛	橋口	黒田	下御嶺	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	
平成27年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

たくさんのご意見ありがとうございました 8会場で開催



藤元地区公民館

問 荒廃した農地も多いが後継者が安心して農業ができる制度作りが必要ではないか。

答 農地の幹旋や集積等については、農地中間管理機構等によってなされている。

問 オリーブ栽培は気候的に適しているのか。

答 気候が栽培に影響する事は認識している。排水条件も良くないと

問 過疎高齢化の自治会では、市道の草払いや覆いかぶさる木の伐採が大きな負担になっていることから、作業班による管理はできないか。

答 産業建設常任委員会で現地調査をし、担当課へも伝え、対応をする。

問 道路が大木や草木などで覆われている箇所があるが、市で伐採できないか。

答 議会としても現地を調査する。また、木の持ち主の同意書を添えるなど地域から担当課へ要望書を提出していただきたい。

問 定住促進対策について、伊集院地域の中心は除くとあるが。

答 過疎対策の一環であり、高齢化率の高い所を3段階で若い居住者を呼び込む支援制度である。

問 増える空き家についての対策は。

答 また、空き家を解体すれば固定資産税が高くなるのか。

答 空き家対策については12月に市と宅建協会(26社)の協定を結ぶ運びとなっている。また、更地にすることで、固定資産の評価が上がるため、固定資産税があがる。



皆田地区公民館

問 美山小学校の学校統合はどうなるのか。

答 美山地区は第2次の再編対象校として、伊作田小と美山小が鶴丸小に

**市政や議会に
対する主な
ご質問・ご意見**

第4回「議会報告会」を、11月12日から11月30日にかけて、市内8カ所で開催しました。どの会場でも、地域課題や議会に関する質疑・意見も活発で、「時間が足りない」「毎年1回は開催すべき等の声も聞かれ延長した地域もありました。出された課題等については、早速取りまとめ議会運営、各常任委員会で調査審議していきます。また、進捗状況や結果等は、「ぎかいのとびら」にも掲載してまいります。今回ご参加いただいた方々をはじめ、ご協力いただいた地区館関係の皆さまに心から感謝いたします。

問 伊集院高校生の約半分は鹿兒島市内の方である。

答 日置市の子どもたちが入学したいと思う優遇制度が必要ではと思うが。

答 要望があったことを伝える。

集約への案が出た。地域の説明があり、美山小では反対の声があったようだ。子どもが少なくてやむなく統合するところもあるが、行政が強制的に行う事ではなく、地域で考えて行うことになる。



猪鹿倉公民館

問 吹上の活性化に、さつま湖・正円の池・キャンプ村跡地を生かした観光拠点整備を進めるべきではないか。

答 各地で同様の意見が出されたことを伝える。

問 中学生の子供医療費助成制度が始まったが、窓口での無料化はできないか。

答 窓口での無料化は難しい面がある。たとえば、財源が豊かな市とみなされ国保の国庫補助金を減額される懸念もある。

議会報告会実績(3地域8会場)

会場	開催日	参加者数
坊野地区公民館	11月12日(土)	男性 9人・女性4人
美山地区公民館	11月14日(月)	男性10人・女性4人
猪鹿倉公民館	11月16日(水)	男性 9人・女性6人
野首地区公民館	11月17日(木)	男性 9人・女性4人
藤元地区公民館	11月18日(金)	男性16人・女性5人
花田地区公民館	11月22日(火)	男性26人・女性4人
和田地区公民館	11月22日(火)	男性31人・女性9人
皆田地区公民館	11月30日(水)	男性12人・女性0人
男性122人・女性36人 合計158人		

報告会での要望

・寄り洲ができて雨が降ったら水位が上がり危険なので除去してほしい。

・地域づくり推進事業でソフト事業として補助があるが、人材の少ない地域で有効的に活用できないように思う。
補助はありがたいがマンパワーも欲しい。

・美山の観光や地元の人



花田地区公民館

の安心のために街灯や歩道の整備が必要だ。

・今年は大きな枯れた松が多く、吹上浜の松くい虫対策は、空中散布の効果が見られない。

・吹上砂丘荘を改装して存続してほしい。

・藤元地区公民館は避難所に指定されているが、入口が狭く坂が急で危険

である。

入口を広く、斜めにするなど改修してもらいたい。

・ニシムタから市道への出口のところに横断歩道の設置をお願いしたい。
信号機から信号機までの間に横断歩道がなく、交通量も多いので危険である。

・議会と市民が話し合う機会を増やしてもらいたい。

議会報告会でのアンケートの集計結果

参加のきっかけ	おしらせ版	54%
報告会の内容について	分かりやすかった	58%
報告会の評価について	評価する	58%
ぎかいのとびらを 読んでいるか	読んでいる	58%
ぎかいのとびらのどの 記事に興味があるか	一般質問	52%

平成29年 第1回定例会会期日程

2月28日	本 会 議
3月1~3日	委 員 会
3月8日	本 会 議
3月9~13日	委 員 会
3月16~21日	一 般 質 問
3月28日	本 会 議

都合により変更になる場合もありますのでご了承ください。

第47号の表紙

IMXILE(イムザイル)

飯牟礼小学校PTAのおやじが結成した平均年齢44歳のダンスパフォーマンスグループで、名前の由来は飯牟礼のEXILE。校区夏祭りの出演が始まりで、児童も一緒にチビザイルとして盛り上げ、十数カ所の舞台に出演し、昨年はNHKのど自慢にも出場した。
小規模校の子どもたちに、一生懸命に舞台上に立つ姿を見せて勇気づけたいと願い、活動を続けている。



編集後記

私たちの広報編集委員会の仕事も、あと1号を作成するのみとなりました。

議員や議会の活動をわかりやすくお伝えしたいとの一点で、委員全員で原稿を作っていました。

いつでもとびらを開けて、入ってきていただきたいとの思いも込めて、ネーミングも「ぎかいのとびら」と変更しました。

委員長として今期の最終号まで、ご愛読いただいたおられる市民の皆様へ感謝し、心をこめて作ってまいります。
(黒田)

《発行責任者》
議 長 成 田 浩

《編集責任》
広報編集委員会

委員長 黒田 澄子
副委員長 橋口 正人
委員 大橋 園子
委員 坂口 貴文
委員 山本 洋之
委員 中口 弘紀